平成 28 年５月 13 日

各　　位

会社名 インフォテリア株式会社
代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎
（コード番号:3853 東証マザーズ）
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 齊藤裕久
（TEL 03-5718-1250）

# 営業外費用、特別損失の計上および通期業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成28年３月期（平成27年４月１日～平成28年３月31日）決算における営業外費用、特別損失の計上をすることを決議いたしました。また、当該期間にかかわる業績予想を公表しておりませんでしたが、前期実績との対比において、差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

１．営業外費用および特別損失の内容

（１）連結財務諸表における営業外費用および特別損失の発生

①当社が保有する関係会社株式につき、該当期間の業績を取り込んだ結果、持分法による投資損失14百万円を営業外費用に計上いたしました。

②当社が保有する有価証券の一部つきまして、投資先の事業環境、業績および今後の見通しを勘案し、減損処理による投資有価証券評価損29百万円を計上いたしました。

| | | |
|---|---|---|
| 平成28年３月期第４四半期会計期間（平成28年１月１日から平成28年３月31日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝Ａ－Ｂ） | | 29百万円 |
| | （Ａ）平成28年３月期（平成27年４月１日から平成28年３月31日まで）の投資有価証券評価損の総額 | 64百万円 |
| | （Ｂ）平成28年３月期第３四半期累計期間（平成27年４月１日から平成27年12月31日まで）の投資有価証券評価損の総額 | 35百万円 |

（２）個別財務諸表における特別損失の発生

保有する関係会社株式の一部につきまして、当初計画において想定していた収益の計上が遅れていることから、同社の事業環境、財政状態及び経営成績を勘案した結果、関係会社株式評価損32百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損につきましては、連結決算上相殺消去されるため、連結財務諸表に与える影響はございません。

２．業績見込み数値と実績値との差異について

①　平成28年３月期通期連結業績と前期実績との差異（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期（平成27年３月期）実績(A) | 1,451 | 70 | 35 | ▲75 | ▲5.15 |
| 当期（平成28年３月期）予想(B) | 1,592 | 312 | 283 | 68 | 4.63 |
| 増減額(B－A) | 140 | 242 | 247 | 144 | ― |
| 増減率(%) | 9.7 | 345.0 | 703.6 | ― | ― |

②　平成28年３月期通期個別業績と前期実績との差異（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期（平成27年３月期）実績(A) | 1,421 | 305 | 304 | ▲7 | ▲0.52 |
| 当期（平成28年３月期）予想(B) | 1,572 | 364 | 354 | 108 | 7.30 |
| 増減額(B－A) | 151 | 58 | 50 | 116 | ― |
| 増減率(%) | 10.6 | 19.3 | 16.5 | ― | ― |

３．差異の生じた理由

① 連結業績

売上高は、前期に比べ主力製品「ASTERIA」および「Handbook」の販売が好調に推移し増加しました。

「ASTERIA WARP」においては、特に下半期から好調となり、「Handbook」においては、新規販売に加えて既存顧客ユーザーの増加となりました。

利益面につきましては、主力製品の販売が好調に推移したことに加え、海外子会社を中心とした組織体制の見直しなどの合理化に努めたこと等による販売費及び一般管理費の減少により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前期を上回ることとなりました。

② 個別業績

売上高は連結業績に記載のとおりです。利益面につきましても売上高の増加により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前期を上回ることとなりました。

※平成28年３月期の業績につきましては、本日公表の「平成28年３月期　決算短信」をご参照ください。

以　上